

平成29年度 くまもと・わくわく基金 冠基金 東京エレクトロン九州・マッチングギフト

事業報告

団体名: **NPO法人ディスカバリーくまもと**

助成事業名: **次世代観光人財育成出前講座
(英語でボランティアガイド養成講座)**

(1)実施内容

- * 水前寺成趣園内と参道の各店を英語でガイド養成
- * **水前寺成趣園地域の小学生(3～6年)対象:26名参加**
- * 7月～9月毎週日曜、計6回実施
- * 最終回(9月24日)英語でガイド発表会
生徒24名、保護者20名、参加
- * **外国人ツーリストとして熊本在住のオーストラリア人協力**



英語でガイド／デモンストレーション(熊日掲載)

参拝マナー英語でガイド (出水神社・手水鉢にて)

新 聞 429 (2017) 9 月 25 日 熊 日 (種郵便物認可)

出水神社で、参拝の仕方を英語で説明する小学生(左)ら＝熊本市中央区



熊本市の小学生が24日、中央区の水前寺成趣園で英語による観光案内に挑戦した。NPO法人「ディスカバリーくまもとボランティアの会」が企画する、子ども英語ガイド養成講座の最終回。2カ月

にわたる特訓の成果を元氣いっぱい披露していた。

英語の案内「伝わった」

水前寺成趣園でガイド養成講座

熊本市の児童 特訓実る

同会は、ふるさとを誇りにし世界に発信できる人材を育てようと定期的に講座を開いている。今年は成趣園近くの児童ら約30人が7月から計6回の講座を受講。関係者から話を聞いてみんなで案内文を作成し、同会スタッフが英訳した。

この日は、保護者や地域住民らを前に英語でガイド。時折、原稿を確認しながら庭園の歴史や出水神社の参拝の仕方、参道の商店などを堂々と案内した。「観光客役」を務めたオーストラリア出身のアン・ノスロプさんは「ファンタスティック!」と褒めた。

砂取小6年の西濱孝晃君は、園内に残る「古今伝授の間」を説明。「ちゃんと伝わって良かった。別の場所も案内できるようにしたい」と満足そうだった。

(酒森希)

(2)助成金の活用

- ・ゲスト講師、外国人協力者、への謝礼
- ・出水神社社務所2階部屋借用金（教室として使用）
- ・生徒募集のためのチラシ印刷代
- ・講師アシスタントたちへの謝礼

* 助成金をもらったことで……

- ・特別講師を招き講演依頼が可能となった
- ・そのことで、講座内容より充実

*** 外国人協力者の参加＝ 外国人ツーリストの立場
からの貴重なアドバイスを受けることが出来た**

- ・出水神社の部屋 ＝ 利用生徒達の移動スムーズ
- ・講師アシスタントたちのやる気にもつながった

(3)成果、市民の声(参加者やサポートを受けた方)✿

＊講座終了後、生徒たちと保護者にアンケート調査実施

・生徒たちからの声……(抜粋)

- ・①ガイド英語だけでなく、日常英会話も学べてよかった
- ・②自分の故郷を、歴史を含めて知ることが出来た
- ・③英語に興味がわいた
- ・④皆で協力し、お互い励まし合い、団結力も増した
- ・⑤英語でスラスラ発表出来てうれしかった
- ・⑥優しく教えてもらって楽しかった
- ・⑦グループ分＝ガイド箇所を分担＝英語話す機会増加

成果、市民の声 ～～ 保護者からの声

- ①学年、学校も違うお友達との交流が出来て良かった
- ②子どもが英語を話すことに興味を持ち始めた
- ③短期間にかかわらず、英語の上達の速さに驚いた！
- ④発音を始め、細やかな指導に感謝
- ⑤**グローバルな時代、このような貴重な体験を、
子どもの時から積むことは、非常に意味がある！**
- ⑥**熊本の歴史や、熊本の素晴らしさを、子どもたちが
世界に発信できることは素晴らしい！**
- ⑦**将来、グローバルに活躍することを期待する！**
- ⑧**素晴らしい企画なので、今後も続けてほしい！！**

(4)今後の事業展開

継続について……

- ＊ **講座終了後もフォローアップ**＝無料で、定期的に、英語でガイドの実地練習、ガイド英語補習、などを継続サポート
- ＊ 保護者たちへこの継続的サポートを通知

今後の発展について…平成30年度

2019年開催国際スポーツイベント
にむけて**即戦力となる**熊本市内の

高校生対象に英語でガイド養成講座
熊本城の復興状況や加藤神社…

《次世代観光人財育講座》

継続開催(7月～10月予定)

